

関西学院初等部 1年 算数科 シラバス〔保護者用〕

◇ 1年算数科の目標

- ・ものの個数を数えることなどの活動を通して、数の意味について理解し、数を用いることができ、加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。
- ・大きさを比較するなどの活動を通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を豊かにするとともに、日常生活の中で時刻を読むことができるようにする。
- ・身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形についての理解の基礎となる経験を豊かにする。
- ・加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができるとともに、ものの個数を絵や図などを用いて表したり読み取ったりすることができるようにする。
- ・算数的活動を十分にさせる。特に具体物操作活動、体験的、作業的活動を多く取り入れ主体的な活動をすすめて楽しく学習させながら、算数の基礎基本を確実に身に付けさせる。

◇ 1年算数の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期 1 2 W (39)	1. なかまづくりとかず	<ul style="list-style-type: none"> ・条件や観点に応じてものの集合をとらえること ・2つの集合の要素を1対1に対応させること ・1～5までの数詞の唱え方、数え方、数字の読み方、書き方、数の構成 ・6～10までの数詞の唱え方、数え方、数字の読み方、書き方、数の構成 ・1～10の数の大小、系列 ・空集合としての0の意味 ・10までの数の系列を多面的にとらえること
	2. なんばんめ	<ul style="list-style-type: none"> ・順序や位置を数で表すこと ・10までの集合数と順序数との統一
	3. いくつといくつ	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物や半具体物による5～10の数の合成、分解 (1つの数を他の2つの数の和や差としてみる)
	4. あわせていくつ ふえるといくつ	<ul style="list-style-type: none"> ・加法の意味(合併、増加) ・和が10以内の加法計算 ・計算カードによる加法計算の練習(1つの数を他の2数の和としてみる) ・0を含む加法計算 ・たし算の問題を作る「お話づくり」
	5. のこりはいくつ ちがいはいくつ	<ul style="list-style-type: none"> ・減法の意味(減少、差) ・被減数が10以内の減法計算 ・計算カードによる減法計算の練習(1つの数を他の2数の差としてみる) ・0を含む減法計算 ・ひき算の問題を作る「お話づくり」
	6. 10よりおおきいかず	<ul style="list-style-type: none"> ・20までの数の唱え方、数え方、読み方、書き方 ・2ずつや5ずつまとめて数えること ・20までの数の構成、系列、大小比較 ・数構成に基づく加減計算 ・十何+1位数(繰り上がりなし)、十何-1位数(繰り下がりなし)の加減計算
	学期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の学習内容について定着度の確認
	7. なんじ なんじはん	<ul style="list-style-type: none"> ・時計のめもりと長針、短針についての理解 ・「何時」「何時半」の読み方
8. はなはなんこさいたかな	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの個数を絵や図などを用いて表したり読み取ったりすること 	
二 学 期 1 4 W (40)	9. どちらがながい	<ul style="list-style-type: none"> ・長さの概念 ・長さの測定(直接比較、間接比較) ・長さを数値化して表すこと(任意単位の初歩)
	10. 3つのかずのけいさん	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な3口の数の加減計算 $(a+b+c)$ $(a-b-c)$ ・たし算ひき算の混じった3口の計算 $(a-b+c)$、$(a+b-c)$ ・3口の数の加減計算の問題を作る「お話づくり」
	11. どちらがおおい	<ul style="list-style-type: none"> ・かさの概念(かさ比べ…いれ物の容量の比較) ・かさの測定(直接比較、間接比較) ・かさを数値化して表すこと(任意単位の初歩)
	12. たしざん	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりのある1位数どうしの加法計算 ・被加数が7～9の場合(9+4など加える数のほうが小さい計算の仕方) ・被加数が2～6の場合(4+8など加える数のほうが大きい計算の仕方) ・計算カードやゲームによる上記の加法計算の練習・操作による繰り上がりのあるたし算の理解
	13. かたちあそび	<ul style="list-style-type: none"> ・直方体、立方体、円柱、球などの立体図形の基礎的概念

		<ul style="list-style-type: none"> ・形や機能に着目した、立体図形の分類 ・立体図形を構成している平面図形の特徴（立体の面を写した絵描き遊び）
	14. ひきざん	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り下がりのある11～18－1位数の減法計算 ・減数が7～9の場合（ひく数が大きな数の場合のひき算の一般化） ・減数が2～6の場合（減々法のひき算） ・計算カードやゲームによる上記の減法計算の練習
	学期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の学習内容について定着度の確認
	15. どちらがひろい	<ul style="list-style-type: none"> ・広さの概念 ・広さの比較（直接比較、陣取りでの数値化による比較）
三 学 期 9 W (27)	16. 20 よりおおきいかず	<ul style="list-style-type: none"> ・10ずつまとめて数えることのよさ ・100までの数の唱え方、数え方、書き表し方 ・2位数の位取りの原理、数の構成 ・100までの数の系列、順序、大小 ・数直線上に表された数 ・簡単な3位数（120程度まで） ・簡単な場合の2位数などの加法、減法 ・何十±何十 ・かずしらべ ・繰り上がり、繰り下がりのない2位数±1位数の計算
	17. なんじなんぷん	<ul style="list-style-type: none"> ・何時何分、何時何分の作り方
	18. ずをつかってかんがえよう	<ul style="list-style-type: none"> ・順序、順序数に関する加法や減法 ・異種の量についての加法や減法の適用（ものと人の数を対応させた加法、減法） ・加減の意味の拡張（求大、求小）
	学年末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期の学習内容について定着度の確認
	19. かたちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・色板や数え棒による基本的な平面図形の構成 ・点をつないでの形の構成
	1ねんのふくしゅう	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年の学習内容の総復習

◇指導の工夫

<自力での問題解決へ>

- ・生活経験や既習の学習内容を活用し、自力で解決していく問題解決の学び方を身に付けられるように、まずはクラス全体で考えを出し合い、その後一人で考える時間をとることを繰り返し行います。

<振り返る場>

- ・既習の基礎的・基本的な内容を繰り返し学習して、定着を図るようにします。

<チャレンジの場>

- ・力の時間と連携して、学ぶことの楽しさや充実感を味わえるような課題を設定し、意欲的に挑戦する態度を育てます。

<ミニテスト>

- ・計算、文章題等学習後の短時間にいろいろな問題に挑戦し、定着度を確かめられるようにします。

◇評価観点

- ・数量やものの形に親しみ、進んで活動しているか。
- ・知識と技能の習得を通して、数理的な処理に親しめているか。
- ・簡単な計算ができ、それをを用いることができると共に、身近にある量の大きさを比べたり、ものの形をとらえたり作ったり分解したりできるか。
- ・数の概念及び計算の意味を理解していると共に、量の大きさや図形についての感覚を豊かにもてるか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『あたらしい さんすう1年』（東京書籍）
- ・『デジタル教科書 あたらしい さんすう1年』（東京書籍）

◇保護者のみなさまへ

- ・1年生の算数科では、おはじきで1つ1つのものと数の一致をさせたり、ブロックを操作して計算の仕方を理解したり、直接長さやかさを比べたりなど、操作や体験活動を通して数に対する興味と理解を深めていきます。また、繰り返し何度も練習することで、学習内容の定着を図っていきます。
- ・10までの数の合成と分解が瞬時にできることは、全ての計算の基礎となります。ご家庭でも繰り返し唱えたり、ゲームの中で自然と繰り返したりなどしていただくと、繰り上がりや繰り下がりのある計算でも、すばやく数の合成や分解ができ、早く正確な答えが出せるようになります。
- ・立体図形に対する認識や理解も、直接触ったり組み合わせたりすることで深まります。2学期はじめに「箱による形づくり」をする予定ですので、さまざまな形の空き箱を集めておいて下さい。

関西学院初等部 2年 算数科 シラバス 〔保護者用〕

◇2年算数科の目標

- ・数の意味や表し方について理解し、数を用いる能力を伸ばすとともに、加法及び減法、乗法の意味についての理解を深め、それらを用いる能力を伸ばす。
- ・長さや体積について単位と測定の意味を理解し、それらの測定ができるようにするとともに、時間について理解して用いることができるようにする。
- ・ものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする。
- ・加法と減法の相互関係について理解し、式を読み取ったり、場面や関係を式に表したり、また、式を用いて自分の考えを説明できたりすることができるようにする。また、身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすることができるようにする。
- ・算数的活動を大切にはしながらも、定着した算数1年の基礎基本の上に2年生の学習内容を確実に身に付けさせるために、考える習慣をつけ推論し思考することができるようにする。

◇2年算数の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期	1. ひょうとグラフ ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な一次元表、グラフの読み方、かき方 ・既習内容の理解の確認と計算技能の維持
	2. 時こくと時間	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻と時間の概念、区別 ・1時間=60分、1日=24時間の単位関係、午前、午後の意味
	3. たし算のひっ算 ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・2位数と1～2位数の加法計算 ・加法の筆算形式 ・加法の交換法則と検算の方法 ・既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	4. ひき算のひっ算 ★どんな計算になるのかな	<ul style="list-style-type: none"> ・2位数から1～2位数をひく減法計算 ・減法の筆算形式 ・加法と減法の相互関係 ・減法の検算の方法 ・2位数の加減についての演算決定
	5. 長さのたんい ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・長さをはかる単位の必要性、有用性 ・ものさしの目盛りの読み方、使い方 ・長さの単位「センチメートル、ミリメートル」 ・1cm=10mmの単位関係 ・直線概念 ・長さについての加減計算 ・既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	6. 3けたの数	<ul style="list-style-type: none"> ・1000までの数の読み方、書き方 ・3位数の位取りの原理、数の構成 ・1000までの数の相対的な大きさ、系列、順序、大小、多面的な見方 ・10や100を単位とする数構成に着目した加減計算 ・数構成に基づく加減計算(500+300, 530-30など) ・大小、相等を表す記号の使い方
	7. 水のかさのたんい	<ul style="list-style-type: none"> ・かさをはかる普遍単位の必要性、有用性 ・かさの単位「デシリットル、リットル、ミリリットル」 ・1L=10dL, 1L=1000mLの単位関係 ・かさについての加減計算
	学期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の学習内容について定着度を見る。
二 学 期	8. 計算のくふう ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・加法の結合法則、()の使い方 ・簡単な加減の暗算のしかた ・既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	9. たし算とひき算のひっ算	<ul style="list-style-type: none"> ・和が3位数になる、2位数と1～2位数の加法計算 ・繰り上がり1回及び、2回の場合、および、波及的に繰り上がる場合 ・差が2位数になる、3位数から1～2位数をひく減法計算 ・繰り下がり1回及び、2回の場合、および、波及的に繰り下がる場合 ・百の位への繰り上がりがない、3位数と1～2位数の加法計算 ・百の位からの繰り下がりがない、3位数から1～2位数をひく減法計算
	10. 三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形、四角形の概念と用語 ・辺、頂点の意味、直角の概念 ・長方形、正方形の概念、性質、かき方(方眼紙を利用) ・直角三角形の概念、性質、かき方(方眼紙を利用)
	11. 分数	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を用いて1/2や1/4などの大きさを作ること ・1/2や1/4などの数を分数と呼ぶこと ※「簡単な分数」を含む
	12. かけ算(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法の意味 ・「×」「かけ算」などの用語、記号 ・〇倍概念の基礎

	★九九ビンゴ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5の段, 2の段, 3の段, 4の段の九九の構成 ・ 「かけられる数」「かける数」の用語と意味 ・ 乗数と積の大きさの関係の初歩的な考察 ・ 活動を通しての九九の習熟
	13. かけ算(2) ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗法の分配法則 ・ 6の段, 7の段, 8の段, 9の段, 1の段の九九の構成 ・ ・倍概念の基礎 ・ かけ算九九の表の考察 ・ 乗数と積の大きさの関係、乗法の交換法則 ・ 簡単な2位数×1位数の乗法計算 ・ かけ算九九を総合的に適用して解決する問題
	学期末テスト	・ 2学期の学習内容について定着度を見る。
	2学期のふくしゅう	・ 2学期の学習内容の復習
三 学 期	14. 4けたの数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10000までの数の読み方, 書き方 ・ 4位数の位取りの原理, 数の構成 ・ 10000までの数の相対的な大きさ, 系列, 順序, 大小, 多面的な見方
	15. 長いものの長さのたんい ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長さの単位「メートル」、1m=100cmの単位関係 ・ 長さについての加減計算 ・ 既習内容の理解の確認と計算技能の維持
	16. たし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> ・ 減法逆の加法, 加法逆の減法の問題解決 ・ 加法と減法の相互関係
	17. はこの形	<ul style="list-style-type: none"> ・ 箱の形をもとにした立体と平面の関係 ・ 立体図形(立方体, 直方体)の構成要素としての頂点, 辺, 面の特徴
	★計算ピラミッド	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～2位数の加減計算の習熟 ・ 伴って変わる2つの数量の関係に関する初歩的な考察
	学年末テスト	・ 3学期の学習内容について定着度を見る。
	2年のふくしゅう	・ 2学年の学習内容の総復習

◇指導の工夫

<自力での問題解決へ>

- ・ 生活経験や既習の学習内容を活用し、自力で解決していく問題解決の学び方を身に付けられるように、まずはクラス全体で考えを出し合い、その後一人で考える時間をとることを繰り返していきます。

<振り返る場>

- ・ 既習の基礎的・基本的な内容を繰り返し学習して、定着を図るようにします。

<チャレンジの場>

- ・ 力の時間と連携して、学ぶことの楽しさや充実感を味わえるような課題を設定し、意欲的に挑戦する態度を育てます。

<ミニテスト>

- ・ 計算、文章題等学習後の短時間にいろいろな問題に挑戦し、定着度を確かめられるようにします。

◇評価の観点と方法

- ・ 基礎的な数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもとうとすると共に、知識や技能などを進んで用いようとしているか。
- ・ 知識と技能の習得を通して、数理的な処理に親しんでいるか。
- ・ 簡単な計算ができ、それらを用いると共に、簡単な量を測定したり、基本的な図形を観察したり作ったりしているか。
- ・ 数の概念及び計算の意味や性質、簡単な量の概念や測定の意味、簡単な図形の概念を理解しているか。

◇使用するテキスト類

- ・ 検定教科書『新しい算数2年(上)』『新しい算数2年(下)』(東京書籍)
- ・ 『デジタル教科書 新しい算数2年』(東京書籍)

◇保護者のみなさまへ

- ・ 2年生の算数科では、足し算・引き算の筆算や掛け算、三角形や四角形などこれからの学習の基礎となる内容を多く含んでいます。その定着を図るためには、反復練習や時間をかけての取り組みが必要となります。課題に取り組むときには、じっくりと集中して取り組むことが大切です。子どもたちがより意欲を持って学習を進められるような教材を提供し、指導を進めていきますが、家庭でも子どもたちの頑張りを認めていただき、声かけを継続していただきますよう、よろしくお願いいたします。
- ・ また、他の教科と同様に、忘れ物のないように授業に臨めるように準備をさせてください。30cm定規や三角定規なども学習する内容によって使用します。必要な際には、学年、学級担任から連絡いたします。

関西学院初等部 3年 算数科 シラバス〔保護者用〕

◇3年算数科の目標

- ・整数の表し方や単位、相対的な関係についての理解を深め、数を用いる能力を伸ばし、小数や分数の意味や表し方について理解できるようにする。また、加法及び減法の計算を理解し、乗法についてはその理解を深め、筆算や確かめの計算が確実にできるようにし、除法については余りや乗法や減法との関係について理解する。また、そろばんによる数の表し方について知り、そろばんを用いて簡単な加法及び減法の計算ができるようにする。
- ・長さや時間についての理解を深めるとともに、重さについては単位と測定の意味を理解し、およその見当を付けたり、目的に応じて単位や計器を適切に選んで重さの測定ができるようにする。
- ・図形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする。
- ・除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができるようにし、数量の関係を表す式については、図と関連づけたり、相互の関係に着目したりして、式を用いることができるようにする。また、資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようにする。
- ・低学年で累積された基礎的な知識・技能をもとに、基礎的・基本的な概念や原理法則を明らかにすると共に、数学的な考え方や処理の仕方を確立していく力を付ける。

◇3年算数の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期	1. かけ算	<ul style="list-style-type: none"> ・乗数と積の関係、乗法の交換法則 ・被乗数分解や乗数分解による乗法の性質 ・かけ算九九を適用して未知数の乗数や被乗数を求めること ・被乗数や乗数が10の場合の乗法計算 ・乗法の性質を用いた被乗数が10を超える場合の乗法計算 ・$a \times 0$、$0 \times a$、0×0の乗法
	2. 時こくと時間のもともめ方	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻と時間の求め方 ・時間の単位「秒」の概念 ・1分=60秒の単位関係
	3. わり算	<ul style="list-style-type: none"> ・除法の意味（等分除・包含除） ・除数と商が1位数の除法の答えの求め方 ・$a \div a$、$0 \div a$、$a \div 1$の除法計算 ・倍と除法の意味
	4. 円と球	<ul style="list-style-type: none"> ・円の概念、性質、円の中心、半径と直径 ・コンパスの機能と使い方 ・球の概念、性質、球の中心、半径と直径 ・円の半径と直径を使った問題、作図
	☆おぼえているかな	・既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	5. たし算とひき算の筆算	<ul style="list-style-type: none"> ・3位数と2～3位数の加法計算（和が3位数、4位数の場合） ・3位数から1～3位数をひく減法計算 （・繰り下がりが1回、2回の場合・波及的に繰り下がる場合） ・4位数と2～4位数の加減計算（一万の位への繰り上がりなし） ・加法と減法の筆算の虫食い算
	6. 暗算	・2位数どうしの加減計算の暗算
	★考える力をのばそう	・図を活用した、重なりのある2つの長さの和の求め方
	学期末テスト	・1学期の学習内容について定着度を見る
	7. あまりのあるわり算	<ul style="list-style-type: none"> ・除数と商が1位数であまりのある除法計算 ・あまりと除数の大きさの関係 ・答えの確かめ方 ・あまりのとりえ方
☆おぼえているかな	・既習内容の理解の確認と、計算技能の維持	
二 学 期	8. 大きい数のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・一億までの数の読み方、書き方 ・一億までの数の位取りの原理、数の構成 ・数の相対的な大きさ、大小、系列、順序関係 ・数直線の意味 ・10倍、100倍、10でわったりした数の大きさ ・4桁の数づくり、小町算、魔方陣
	★かたちであそぼう	・タングラムを用いた平面図形の操作活動
	☆おぼえているかな	・既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	9. かけ算の筆算1	<ul style="list-style-type: none"> ・何十、何百に1位数をかける乗法計算 ・2～3位数に1位数をかける乗法と筆算形式 ・乗法の結合法則 ・倍の第二用法 ・乗法の筆算の拡張（乗数が1位数）
	★どんな計算になるのかな	・加減乗除についての演算決定
	10. 大きい数のわり算	<ul style="list-style-type: none"> ・何十を1位数でわる除法計算（あまりなし） ・2位数\div1位数で、十の位と一の位でわりきれぬ除法計算
	11. 長いものの長さのはかり方	<ul style="list-style-type: none"> ・巻尺の機能と使い方、有用性 ・長さの単位「メートル」 ・距離、道のりの意味と求め方
	☆おぼえているかな	・既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	12. 小数	<ul style="list-style-type: none"> ・小数の意味と表し方 ・小数の位取り ・小数の数構成、相対的な大きさ、大小関係 ・小数の加減計算と筆算形式（小数第一位まで）

	13. 三角形	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形、正三角形の概念 二等辺三角形、正三角形のかき方 形としての角の概念 二等辺三角形、正三角形の角の性質 円やドットを用いた二等辺三角形、正三角形の考察
	☆おぼえているかな	既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	14. 分数	<ul style="list-style-type: none"> 分数の意味と表し方 分数は単位分数のいくつ分で表せること 分母が10の分数と小数の関係 同分母分数の加減計算 もとにする大きさの異なる分数
	学期末テスト	2学期の学習内容について定着度を見る
	15. □の式	未知の数量を□として、加法、減法、乗法の式で表し、□の値を求めること
	★考える力をのばそう	未知の数量を□として、問題場面を図に表し、□の値を求めること
三 学 期	16. かけ算の筆算	<ul style="list-style-type: none"> 1～2位数に何十をかける乗法計算 2～3位数に2位数をかける乗法と筆算形式 きまりを使った乗法の計算の工夫 2位数と1位数との乗法の暗算 乗法の筆算の拡張（乗数が2、3位数）
	☆おぼえているかな	既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	17. ぼうグラフと表	<ul style="list-style-type: none"> 資料の分類・整理のしかた、項目のとり方、表し方 棒グラフのよみ方、かき方、有用性 二次元表のよみ方、かき方
	★かたちであそぼう	ペントミノの敷き詰めを通した平面図形の考察
	18. 重さのたんいとはかり方	<ul style="list-style-type: none"> 重さの概念 重さの単位「グラム、キログラム」 はかりを使った重さの測定のしかた 重さについての加減計算（正味、風袋、全体の重さ） 長さ、重さ、かさの単位の関係（メートル法の素地） おもりの組み合わせと二進法
	☆おぼえているかな	既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	★考える力をのばそう	等間隔に配置されたものの数と、その間の数との関係に着目して考える問題解決
	学年末テスト	3学期の学習内容について定着度を見る
	19. そろばん	そろばんの珠の入れ方、取り方
	★3年のふくしゅう	3学年の学習内容の総復習

◇指導の工夫

<みんなで考えを出し合う学習>

- お互いの考えを出し合いより合理的な考え方をみんなで作っていき出し、学習を展開し、友達とともに学ぶよさを感じ取れるようにします。

<生かす態度>

- 中学年では、「進んで生活に生かそうとする態度を育てる」ことが大切です。四則計算などをはじめとする基本的な知識や技能を習得するだけでなく、日常生活に近い形で問題提示するなどして、その有用性に気付くことができるようにします。

<具体的に考える場>

- 中学年になると、学習内容が次第に抽象的になり、そのことで算数に抵抗感を示す子どもが少なくありません。そこで、計算などは、答えを導き出した理由を絵や図に表しながら、自分の解法を説明する場を数多く設け、具体的に考えていけるようにします。

<発展的学習>

- 各単元の後半には、発展的な学習を位置づけ、難易度の高い問題に挑戦するおもしろさや論理的に考えを組み立てていくよさを感じ取れるようにします。

◇評価観点

- 数理的な事象に関心をもつとともに、知識や技能などの有用性及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしているか。
- 数量や図形についての知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え表現したり、考えを深めたりするなど、数学的な考え方を身に付けているか。
- 整数などの計算をしたり、長さや重さなどを測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、数量の関係などを表したり読み取ったりするなどの技能を身に付けているか。
- 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数、小数及び分数の意味と表し方、計算の意味、長さや重さなどの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解しているか。

◇使用するテキスト類

- 検定教科書『新しい算数3年（上）』『新しい算数3年（下）』（東京書籍）
- 『デジタル教科書 新しい算数3年』（東京書籍）

◇保護者のみなさまへ

- 3年生は、1・2年生の基礎的な学習をもとに高学年へと発展させるよう、学習を充実させる時期です。まず、基礎的な計算が確実にできるようにすることが大切です。それには繰り返し練習することが必要になります。宿題等の家庭学習にしっかり取り組めますようご協力ください。また、見通しをもち筋道を立てて考える考え方を育てる重要な段階でもあります。学校では、特に力の時間でこのことに取り組んでいます。さらに、長さ、重さ、時刻等、日常生活でよく使われることを学びますので、ご家庭でもこれらの事柄を話題にさせていただきますようお願いいたします。

関西学院初等部 4年 算数科 シラバス〔保護者用〕

◇ 4年算数科の目標

- ・億、兆の単位、概数、および四捨五入、見積もりについて理解するとともに、数の除法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにする。小数とその加法及び減法について理解を深めるとともに、小数の乗法及び除法の意味について理解し、計算ができたりするようにする。また、分数についての理解を深め、同分母の分数の加法及び減法を用いることができるようにする。そろばんを用いて、加法及び減法の計算ができるようにする。
- ・面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算によって求めることができるようにする。また、角の大きさについて単位と測定の意味を理解し、角の大きさの測定ができるようにする。
- ・図形についての観察や構成などの活動を通して、直線の平行や垂直の関係、および平行四辺形、ひし形、台形について理解するとともに、立方体、直方体について知ることができるようにする。
- ・伴って変わる二つの数量の関係や二つの観点から分類整理した数量を表やグラフを用いて表したり、調べたりすることができるようにとともに、数量の関係を表す式について理解し、四則の混合した式や四則に関して成り立つ性質（交換法則、結合法則、分配法則）および（ ）を用いた式や公式についての考え方について理解し、正しく計算することができるようにする。

◇ 4年算数の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期	1. 大きい数のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・億、兆に及ぶ数の構成、命数法と記数法 ・10倍、1/10にした数の表し方 ・十進位取り記数法と十進数の意味、兆より大きい数の単位 ・3位数どうしの乗法の筆算 ・末尾に0のある乗法の計算の工夫、エジプト数字の記数法
	2. 角の大きさ	<ul style="list-style-type: none"> ・回転による角の大きさの意味 ・角の単位「度」、1直角=90°の単位関係 ・分度器による角のはかり方、かき方 ・対頂角の性質、分度器を活用した三角形の作図のしかた
	3. わり算の筆算（1） ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・何十、何百を1位数でわる除法計算 ・2～3位数を1位数でわる除法と筆算形式 ・除法の意味の拡張（倍の計算）と1位数でわる除法の暗算、除法の筆算の拡張（除数が1位数）既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	4. 垂直・平行と四角形 ★考える力をのばそう	<ul style="list-style-type: none"> ・直線の垂直、平行の概念とかき方 ・平行線を活用してできる角の大きさの考察 ・台形、平行四辺形、ひし形の概念、性質 ・台形、平行四辺形、ひし形のかき方、いろいろな四角形の対角線の性質、四角形の考察図を活用し、2量の差に着目して考える問題
	5. 折れ線グラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・折れ線グラフのよみ方とかき方 ・折れ線グラフの読み取りと未測値の考察 ・棒グラフと折れ線グラフの合わさったグラフの読み取り
	6. そろばん ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・大きい数や小数の珠の入れ方 ・そろばんによる簡単な小数の加減計算
	学期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の学習内容について定着度を見る。
二 学 期	7. 小数のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・小数の位取りの原理、小数の構成、小数が十進構造になっていること ・小数を用いた数量の表示のしかた、相対的な大きさ、順序、大小関係 ・小数を10倍、1/10にしたときの数の表し方 ・小数の加減計算と筆算形式（小数第二位以下）
	8. わり算の筆算（2） ★かたちであそぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・何十でわる除法計算 ・2～3位数÷2位数、3位数÷3位数の除法と筆算形式 ・仮商の見つけ方と修正のしかたと除法について成り立つ性質 ・末尾が0の除法の計算の工夫、除法の筆算の拡張（除数が2、3位数） ・メビウスの輪を用いた操作活動
	9. 整理のしかた ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を落ちや重なりがないように分類整理し、表にまとめること ・二次元表の表し方、既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	10. 計算のきまり	<ul style="list-style-type: none"> ・（ ）を用いた式と四則混合の式の計算順序 ・分配、交換、結合法則の理解と活用 ・乗法について成り立つ性質、工夫して面積を求める問題
11. 面積のはかり方と表し方 ★考える力をのばそう	<ul style="list-style-type: none"> ・面積の意味、面積の単位「平方センチメートル、平方メートル、平方キロメートル、アール、ヘクタール」と単位の相互関係 ・長方形、正方形の面積公式 ・複合図形の面積の求め方、工夫して面積を求める問題 	

		・ 2つの数量の共通部分から数量の関係を単純化してとらえること
	学期末テスト	・ 2学期の学習内容について定着度を見る。
	2学期のふくしゅう	・ 2学期の学習内容の復習
	12. 分数	・ 真分数、仮分数、帯分数の概念、構成 ・ 数直線をもとにした仮分数や帯分数の構成と相互の関係 ・ 分数の相等関係と大小比較 ・ 同分母分数の加減計算、 $2m$ を何等分かした大きさ
	13. 変わり方調べ ☆おぼえているかな	・ 2つの数量の対応関係を表に表したり、□や・を用いて式に表したりすること ・ 既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
三 学 期	14. がい数の表し方 ☆おぼえているかな	・ 概数の意味 ・ 四捨五入の意味と方法 ・ 概数処理の種々の表現方法と数の範囲の表し方 ・ 和や差、積、商を概数で見積もること ・ 既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	15. 小数のかけ算とわり算 ☆おぼえているかな ★どんな計算になるのかな	・ 小数に整数をかける乗法と小数を整数でわる除法と筆算形式 ・ あまりがある場合のあまりの小数点の位置、わり進みのある除法計算 ・ 小数の意味の拡張（小数倍） ・ 既習内容の理解の確認と、計算技能の維持 ・ 加減乗除についての演算決定
	16. 直方体と立方体 ★かたちであそぼう	・ 直方体、立方体の概念、特徴、性質 ・ 展開図、見取図の意味とかき方 ・ 直方体、立方体の面や辺の位置関係（垂直、平行） ・ 平面上や空間内の点の位置の表し方、立方体の展開図の種類 ・ デジタル数字を用いた対称の素地的活動
	17. ★算数おもしろ旅行	・ 和算、クイズ・パズルなどを通して算数に対する興味を広めること
	学年末テスト	・ 3学期の学習内容について定着度を見る。
	★4年のふくしゅう	・ 4学年の学習内容の総復習

◇目標達成に向けての指導の工夫

<問題解決の過程の設定>

- ・ 生活経験や既習の学習内容を活用し、自力で解決していく問題解決の学び方を身に付けられるようにします。

<振り返る場>

- ・ 既習の基礎的・基本的な内容を繰り返して学習し、定着を図る場を設定します。

<チャレンジの場>

- ・ 学ぶことの楽しさや充実感を味わえるように設定し、その課題に意欲的に挑戦できるようにします。

<ミニテスト>

- ・ 計算、文章題、作図等、いろいろな問題に挑戦し、学習の定着度を確かめられるようにします。

<習熟度別学習>

- ・ 一人一人の理解の仕方に柔軟に対応することを目的に、習熟度別の指導や少人数の指導を行います。

◇評価の観点

- ・ 知識や技能などの有用さ、及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさが分かり、進んで生活に生かそうとしているか。
- ・ 知識と技能の習得や活用を通して数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道立てて考えているか。
- ・ 整数や小数などの簡単な計算ができ、それらを目的に応じて適切に用いたり、簡単な量を測定したりするとともに、基本的な図形を調べたり、数量の関係などを表したり読んだりすることができているか。
- ・ 記数法や計算の性質などについて理解を深めるとともに、面積などの求め方、基本的な図形の性質、数量の関係の見方や調べ方を理解しているか。

◇使用するテキスト類

- ・ 検定教科書『新しい算数4年（上）』『新しい算数4年（下）』（東京書籍）
- ・ 『デジタル教科書 新しい算数4年』（東京書籍）

◇保護者のみなさまへ

- ・ 4年生の算数科では、小数や分数、概数、角、面積など、新しい概念や考え方が多く出てきます。そのどれもが大切な学習なのですが、これまでに比べ内容が難しくなるため、学習に抵抗感を感じ始める子どもが増えるとも言われています。学校では一人一人の学習の様子に十分注意を払いながら授業を行い算数好きの子どもを育てたいと考えています。ご家庭においても、持ち帰るプリントなどにしっかり目を通すなどのご協力をよろしくお願いいたします。

関西学院初等部 5年 算数科 シラバス〔保護者用〕

◇5年算数科の目標

- ・整数の性質（偶数、奇数、約数、倍数）や記数法の考えをいかして計算することができる。小数の乗法及び除法についての理解を深め、計算ができるようにする。分数についての理解を深め、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、また、整数、小数、分数相互の関係を用いて大小の比べ方をまとめたり、異分母の分数の加法及び減法、乗法及び除法の意味や計算ができるようにする。
- ・三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積を計算によって求めることができるようにし、体積について単位と測定の意味を理解し、立方体及び直方体の体積を計算によって求めることができるようにする。量の大きさの測定値や平均について理解できるようにするとともに、単位量当たりの大きさについて知り、二つの比べ方や表し方を理解できるようにする。
- ・多角形や正多角形について知るとともに、円周率や図形の合同について理解し、図形についての観察や構成などの活動を通して、平面図形および立体図形（角柱や円柱）についての理解を深める。
- ・表を用いて、伴って変わる二つの数量の関係（比例の関係）や式を考察できるようにし、二つの数量の対応や変わり方に着目できるようにするとともに、百分率について理解し、目的に応じて分類整理し、円グラフや帯グラフなどを用いて表すことができるようにする。
- ・中学年までの学習をもとに、数・量・図形などについての基礎的な知識の理解を深め、計算・測定・作図などの技能を伸ばし、数理的な処理のよさがわかりそれを活用する態度を育てる。

◇5年算数の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期	1. 整数と小数 ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・十進数としての整数、小数 ・小数や整数を10倍、100倍、$1/10$、$1/100$にしたときの数の表し方 ・既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	2. 直方体や立方体の体積 ※「角柱や円柱」「見取り図や展開図」を含む ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・体積の意味と単位「立方センチメートル、立方メートル」、相互関係 ・直方体、立方体の体積公式とその適用 ・複合図形の体積の求め方、比例の意味 ・概形をとらえた体積の概測、既習内容の理解の確認と計算技能の維持
	3. 小数のかけ算 ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・小数をかけることの意味、小数の乗法の考え方と筆算形式 ・純小数をかけるときの積と被乗数の関係 ・小数の場合も分配、交換、結合法則が成り立つこと、純小数倍の意味 ・小数倍を適用する計算（第二用法） ・既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	4. 小数のわり算 ★どんな計算になるのかな	<ul style="list-style-type: none"> ・小数でわることの意味、小数の除法の考え方と筆算形式 ・純小数でわるときの商と被除数の関係、あまりの位取り ・商を概数で表すときの処理と分数の乗除計算についての理解（作問） ・小数倍を適用する計算（第一、三用法） ・小数の乗除についての演算決定
	学期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の学習内容について定着度を見る。
二 学 期	5. 合同な図形 ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・合同の意味、合同な図形の弁別 ・合同な図形の性質 ・合同な三角形・平行四辺形の作図と三角形・四角形の決定条件の初歩 ・一般四角形の作図、平面図形の決定条件の初歩 ・既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	6. 偶数と奇数、倍数と約数	<ul style="list-style-type: none"> ・偶数、奇数の意味とその類別、倍数、公倍数、最小公倍数および約数、公約数、最大公約数の意味とその見つけ方 ・カレンダーなどを使った剰余類の適用、公倍数の性質を使った問題
	7. 単位量あたりの大きさ ★かたちであそぼう ★考える力をのぼそう ☆おぼえているかな	<ul style="list-style-type: none"> ・平均の意味と求め方 ・平均から全体量を求める方法 ・単位量あたりの大きさの意味 ・人口密度の意味と求め方、平均、単位量あたりの考えの活用 ・数種類のブロックを用いた敷き詰めなどの操作活動と平面図形の考察 ・図、表、式を用いて数量の規則性を見つける問題解決 ・既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	8. 分数と小数 ★算数の目で見てみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・整数のわり算の商を分数で表すこと ・分数の意味の拡張（分数倍） ・分数と小数、整数の相互関係 ・ピーマンの収穫に関する資料の読み取り
	9. 図形の角	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の内角の和は180°であること ・多角形の内角の和の考察、四角形での平面を敷き詰められること、平行四辺形を利用した模様作り、凹型図形の角や多角形の外角の和
	10. 分数のたし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> ・約分、通分の意味とその方法、異分母分数の加法、減法の計算 ・分数と小数の混じった加減計算、時間の分数表示
	11. 四角形と三角形の面積	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形、三角形の面積の求め方、面積公式とその適用 ・台形やひし形の面積の求め方、面積公式とその適用

	☆おぼえているかな	・方眼を用いた面積の概測、平行四辺形や三角形の高さと面積の関係、図形の性質を用いた面積の求め方、既習内容の理解と計算技能の維持
	学期末テスト	・2学期の学習内容について定着度を見る。
三 学 期	12. 百分率とグラフ ☆おぼえているかな ★考える力をのばそう ★かたちであそぼう	・割合、百分率の意味とその求め方、歩合の意味とその表し方 ・百分率での計算方法、帯グラフ、円グラフの読み方、特徴、かき方、割合を使ったいろいろな問題 ・既習内容の理解の確認と変化する2つの数量とその和や差を表に表すことを通して、変化の規則性を見つける問題解決 ・一筆がきに潜む偶数、奇数との関わりや成立の条件を知り、一筆がきや図形への興味を広げること
	13. 正多角形と円周の長さ	・正多角形概念、性質、かき方、円周率の意味 ・円の直径の長さと円周の長さの関係、円周を使ったいろいろな問題
	14. 分数のかけ算とわり算	・分数に整数をかけることの意味と計算のしかた ・分数を整数でわることの意味と計算のしかた
	15. 角柱と円柱 ★算数の目で見てみよう ★算数おもしろ旅行	・角柱、円柱概念、特徴、性質 ・角柱、円柱の見取図、展開図、角錐、円錐
	学年末テスト	・3学期の学習内容について定着度を見る。
	16. 5年のふくしゅう	・5学年の学習内容の総復習

◇目標達成に向けての指導の工夫

<みんなで考えを出し合う学習>

- ・お互いの考えを出し合いながら、より合理的な考え方をづくり出していく学習を展開し、友達とともに学ぶよさを感じ取らせる。

<振り返る場>

- ・既習の基礎的・基本的な内容の定着を確認するために、学年末テストを行う。結果を分析し、その後の自分の学習に生かしていけるようにする。

<発展的学習>

- ・各単元の後半には、発展的な学習を位置づけ、難易度の高い問題に挑戦するおもしろさや論理的に考えを組み立ていくよさを感じ取れるようにする。

<少人数学習>

- ・単元によっては、一人一人の理解の仕方に柔軟に対応することを目的として、一クラスを複数の教師で指導する少人数指導を行う。

◇評価の観点

- ・知識や技能などの有用さ、及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさが分かり、進んで生活に生かそうとしているか。
- ・知識と技能の習得や活用を通して数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道立てて考えているか。
- ・整数や小数、分数などの簡単な計算ができ、それらを目的に応じて適切に用いたり、簡単な量を測定したりするとともに、基本的な図形の面積や体積を求めたり、数量の関係をグラフや表などで表したり読んだりすることができているか。
- ・記数法や計算の性質などについて理解を深めるとともに、面積などの求め方、基本的な図形の性質、数量の関係の見方や調べ方を理解しているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『新しい算数5年(上)』『新しい算数5年(下)』(東京書籍)
- ・『デジタル教科書 新しい算数5年』(東京書籍)

◇保護者のみなさまへ

- ・5年生の算数科では小数のかけ算やわり算、分数のたし算やひき算、分数と小数などの既習学習を進めたり、合わせたりといった統合的な学習や体積、単位量あたりの量、円、倍数と約数など数多く新しい概念や考え方が出てきます。これまでと比較して、反復練習で身につけるだけでなく、概念や考え方を理解することにも重きを置いた内容が増えてくるため、学習に不安を感じたり、習得に時間を必要としたりする子どもが増えるとも言われています。学校では一人一人の学習の様子に十分注意を払いながら授業を行い、「わかった」「だから、こうなるんだ」と理解を進めることができるように進めていきます。ご家庭においても、持ち帰るプリントやノートなどに目を通したり、家庭学習の様子などを見ていただいたりするなどのご協力やご配慮などをよろしくお願いいたします。

関西学院初等部 6年 算数科 シラバス〔保護者用〕

◇6年算数科の目標

- ・分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、小数及び分数の計算の能力を定着させ、それらを用いることができるようにする。
- ・身の回りにある形について、およその面積（円の面積など）や体積（角柱及び円柱の体積など）を計算によって求めることができるようにする。また、速さについて理解し、求めることができるようにするとともに、メートル法の単位の仕組みについて理解できるようにする。
- ・図形についての観察や構成などの活動を通して、縮図や拡大図、対称な図形といった平面図形についての理解を深める。
- ・伴って変わる二つの数量の関係を考察し、比や比例・反比例の関係について理解し、式、表、グラフなどを用いることができるようにする。数量の関係を表す式についての理解を深め、 a 、 x などの文字を用いた式を用いて表すことができるようにする。具体的な事柄について、起こり得る場合を順序よく整理したり、資料の平均や散らばり（度数分布）などを考察したりすることができるようにする。
- ・小学校算数の総まとめとして学んだことを確実に定着させる。特に力の時間では思考力を十分にはたらかせて推論できる力をつける。

◇6年算数の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期	1. 円の面積	・ 円の面積の求め方と面積公式 ・ 円の面積を使ったいろいろな問題
	2. 文字と式	・ 数量の大きさを、文字 x を用いた式で一般的に表すこと ・ 数量の関係を、文字 x 、 y を用いた式で一般的に表すこと
	3. 分数のかけ算	・ 分数をかけることの意味と計算のしかた ・ 分数についても公式や計算法則が成り立つこと ・ 逆数の意味
	★かたちであそぼう	・ 2つの輪を使っているいろいろな形を作る操作活動
	4. 分数のわり算	・ 分数でわることの意味と計算のしかた ・ 3口の分数の乗除混合計算のしかた ・ 分数、小数、整数の混じった乗除計算のしかた ・ 分数の乗除計算の立式についての理解の深化（作問） ・ 分数倍を適用する問題（第一、二、三用法） ・ 分数の計算の拡張
	★どんな計算になるのかな	・ 分数の乗除についての演算決定
	5. 対称な形	・ 線対称な図形、対称の軸の概念 ・ 線対称な図形の性質（対応する点、辺、角）とかき方 ・ 点対称な図形、対称の中心の概念 ・ 点対称な図形の性質（対応する点、辺、角）とかき方 ・ 既習の多角形を対称性という観点で見ること ・ 折り紙を折って既習の平面図形を作る問題
	学期末テスト	・ 1学期の学習内容について定着度を見る
二 学 期	6. 比と比の値	・ 比の意味と表し方 ・ 比の値の意味と表し方 ・ 等しい比の意味と調べ方 ・ 比の相等関係とその活用、比例配分 ・ 比を使った平面図形の問題
	☆おぼえているかな	・ 既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	7. 拡大図と縮図	・ 拡大図、縮図の意味や性質（対応する辺の長さや角の大きさ） ・ 拡大図、縮図のかき方 ・ 縮図の利用 ・ 相似比を使った問題、相似比と面積比に関する問題
	8. 速さ	・ 速さの意味と表し方 ・ 速さに関する公式とその適用 ・ 列車の速さを求める問題
	9. 角柱と円柱の体積	・ 角柱、円柱の体積公式とその適用
	☆おぼえているかな	・ 既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	10. およその面積	・ 概形を基本図形でとらえた面積の概測
	★考える力をのぼそう	・ 線分図を用いて全体を1とみたときの、単分量などを求める問題解決
	☆おぼえているかな	・ 既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	★算数の目で見てみよう	・ 家庭で使用する水に関する資料の読み取り
	11. 比例と反比例	・ 比例の関係を文字 x 、 y を使って式に表すこと ・ 表を使った比例関係の考察 ・ 比例のグラフの理解 ・ 比例関係に着目した問題 ・ 反比例の意味、性質 ・ 反比例の式、表、グラフ ・ 平面図形の面積と格子点の数の関係 ・ 比例のグラフの考察

	学期末テスト	・2学期の学習内容について定着度を見る
三 学 期	12. 資料の調べ方	・代表値としての平均 ・資料を度数分布表に整理すること ・柱状グラフを読んだりかいたりすること ・一部の資料から全体の資料の傾向を調べること ・いろいろなグラフの特徴、読み方 ・ダイヤグラム、荷物の配達料金のグラフ
	★考える力をのぼそう	・図、表、式を用いて数量の規則性を見つける問題解決
	☆おぼえているかな	・既習内容の理解の確認と、計算技能の維持
	13. 場合の数	・起こりうる場合の数を落ちや重なりがないように調べる方法 (順列、組み合わせの考え方の初歩)
	★かたちであそぼう	・折り紙を使って対称な形を作る操作活動
	14. 量の単位のしくみ	・いろいろな量の単位とメートル法 ・いろいろな量の単位を漢字で表すこと
	★算数の目で見てみよう	・新幹線に関する資料の読み取り
	★算数卒業旅行	・算数・数学に関するふしぎ、国際理解、和算、クイズ・パズルなどを通して算数・数学に対する興味を広めること
	学年末テスト	・これまでの学習内容について定着度を見る
	★算数のまとめ	・小学校の学習内容の総復習

◇指導の工夫

<みんなで考えを出し合う学習>

- ・お互いの考えを出し合いながら、より合理的な考え方をくり出していく学習を展開し、友達とともに学ぶよさを感じ取らせるようにします。

<振り返る場>

- ・既習内容の定着を確認するために、学年末テストを行います。結果を分析し、その後の自分の学習に生かしていけるようにします。

<発展的学習>

- ・各単元の後半には、発展的な学習を位置づけ、難易度の高い問題に挑戦するおもしろさや論理的に考えを組み立てていくよさを感じ取れるようにします。

<少人数学習>

- ・単元によっては、一人一人の理解の仕方に柔軟に対応することを目的として、一クラスを複数の教師で指導する少人数指導を行うことも視野に入れます。

◇評価の観点

- ・数理的な事象に関心をもつとともに、数量や図形の性質や関係などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりのよさが分かり、進んで生活や学習に活用しようとするか。
- ・数量や図形についての知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について論理的に考え表現したり、そのことを基に発展的、統合的に考えたりするなど、数学的な考え方を身に付けているか。
- ・分数の計算をしたり、図形の面積や体積を求めたり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり調べたりするなどの技能を身に付けているか。
- ・数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、分数の計算の意味、体積の公式、速さの意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解しているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『新しい算数6年(上)』『新しい算数6年(下)』(東京書籍)
- ・『デジタル教科書 新しい算数6年』(東京書籍) ・アイテム6年

◇保護者のみなさまへ

- ・6年生の算数科では、比、比例や反比例、立体、場合の数などの概念や考え方としては新しく、難しさを感じるものが多く出てきますが、そのいずれもが身近な生活で常に触れている事柄です。学習する際には、普段の生活を振り返ることで、抵抗感を感じることがないように進めていきます。また、小学校6年間の算数のまとめとして、学習内容の縦のつながりと同時に、他の教科との関連を生かした横のつながりを大事にして、中学校へとつなげていきます。まだ十分には習得できていない内容があれば、見つけておさらいするだけでなく、得意な内容を見つけてより意欲的に取り組めるよう配慮していきます。ご家庭においても、ノートや持ち帰るプリントなどで課題を確認すると同時にこれまでに身につけてきた事柄にも目を向けて、これまでの努力を称賛していただき、苦手な内容にも意欲的に取り組めるような励ましの声をかけていただきますよう、よろしくお願いいたします。